

(教育)教職支援センター改修工事

工事期間 平成31年1月 ~ 令和元年9月
構造・階数 鉄筋コンクリート造 2階
延床面積 1,741㎡

工事内容

本学の機能強化構想にある「地域育成の強化」を推進するため、研究領域の関連する3つの分野(教職支援センター、教職大学院、教育学研究科教育科専攻(学校教育領域))を集約し、地域人材の育成と、教育・研究成果を地域に還元する機能の強化を行った。



改修前



玄関ホール

建物の南北のパブリックスペースをつなぐ動線としてデザインし、建物の中央に配置



改修前



エレベーター

バリアフリー対応としてエレベーターを新設



改修前



多目的室

パブリックスペースとの一体感を出すため、テラスを設け、大きな窓を設置

外部パブリックスペース整備

- 建物改修に合わせ、教育学部・芸術系実習施設、教養教育等の各ゾーンを1つのブロックとして一体的にとらえ、外部空間の一部を取り込み総合的に整備することにより、学部を越え融合的に利用できる交流の場(パブリックスペース)を形成
- 知的創造活動及び研究活動の活性化のための交流及びリフレッシュの場として潤いのある空間を形成
- イベント用の空間として利用でき、地域社会に開かれた場として期待できる

